

秋の褒章 市内から二人の方が

おめでとーうございます

秋の褒章受章者が十一月一日に発表され、市内では黄綬褒章に青山昭二さん、山本哲司さん、藍綬褒章に豊田善次さんが受章されました。



青山昭二さん (68歳 八百富町)



山本哲司さん (64歳 宝町)



豊田善次さん (58歳 金平町)

黄綬褒章受章

黄綬褒章受章

藍綬褒章受章

青山さんは、昭和二十二年に県立神戸経済専門学校卒業後、税理士の道を志し、昭和二十九年に独立開業しました。以来、四十一年間、健全な納税業務の支えとして第一線で活躍されています。

山本さんは、昭和二十九年慶応義塾大学を卒業後、第一銀行に入行されました。昭和四十三年七月に蒲郡信用金庫に入庫され、昭和六十一年五月から現在まで理事長を務められています。

豊田さんは、昭和四十二年に二十九歳の若さで蒲郡市議会議員に就任。以来、通算七期、二十八年の長きにわたって地方自治の発展に寄与されました。この間、市議会副議長の要職を歴任されたほか、厚生文教・経済・建設常任委員会委員長などを務められました。

税理士の仕事だけでなく、公平委員など多くの公職を兼ねる青山さんは、東奔西走の毎日。「東海税理士会には、他に功績のある先輩がいらっしゃいます。会長さんに辞退を申し上げたんですが」と控えめに語る青山さんです。

金融機関を取り巻く状況は内外ともに厳しいなかで、蒲信を確固たる信用金庫に育てた手腕はたいへん評価されています。「先輩が築いた地盤をさらに強化し、地域経済の活性化に貢献したい」とおっしゃっています。

金平町の「あじさいの里」の景観整備には特に力を尽くされ、その行動力で地域の人たちから慕われています。蒲郡市政を長い間牽引してきたベテラン議員は、いつも元気です。

BOOK 市立図書館 推薦図書



「自転車一辺倒」 著 加藤 一 永六輔 発行 講談社

自転車に乗って走ると「風景が色彩を持った風にならなう」と表現するプロの自転車選手だったことのある自転車歴六十一年の画家と、意外や意外自転車歴五十一年の放送作家の二人が、「誰がなんといおうと自転車が好き」を語り合う。自転車少年の夢、パリ日本館の伝説、日本の放置自転車問題など、話題はつきない。

十二月の市政ビデオ ニュース

放映は市役所市民病院 東部・西部市民センター

- ◇大塚デイサービスセンター
- ◇蒲郡ぞうれつしゃ合唱団
- ◇副葬品にみる古墳文化
- ◇塩津中学生職場体験学習
- ◇公共施設年末年始のお休み (後半)